

SASINE

検索



音検知に
死角なし!!

音で24時間絶間なく
施設監視しています。

SASINE の特徴

- SASINEは、音からアラームを表示するので、**カメラや赤外線センサーで生じる監視死角がありません**。360度範囲の音を検知します。
- 検知した音のレベルに合わせて本体に表示して、そのデータをクラウドでAI等での、分析管理ができます。
- SASINEは端末で音の判定収集を完結しているため、生の音をデータとして送ることもしないため、情報漏洩、プライバシー、個人情報保護については100%の安心をもたらします

SASINEの仕組み



SASINEの7つのポイント

- ポイント① 音の検知なのでプライバシーに触れない。
- ポイント② 音のレベルは、16段階で判定を設定できる。
- ポイント③ カメラや赤外線センサーと異なり死角がない。
- ポイント④ クラウドで集計できるのでデータを元に設定を変えられる。
- ポイント⑤ 異音検知アラートを直接メールに通知することができる。
- ポイント⑥ ランニングコストは携帯などの通信の数十分の一。
- ポイント⑦ 電池で駆動可能。

◇ 判定基準テーブル

判定基準はカスタム設定も可能です

◇ 標準搭載では16パターンの設定をスイッチで分けられます。

最大レベル4、RED表示の時の音声レベルの判定値とSW設定は以下です(弊社測定環境)

0設定: 95db上

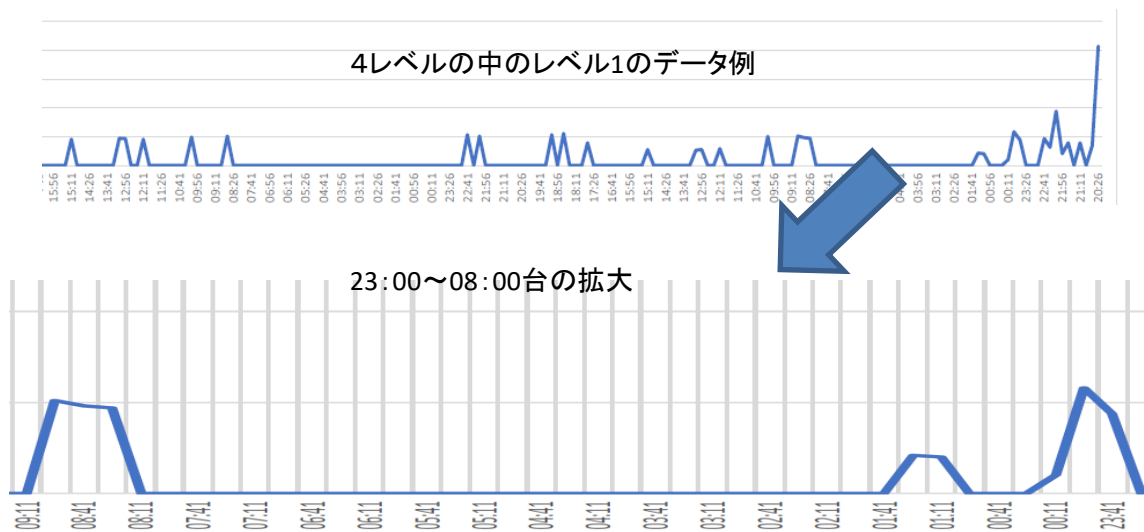
5設定: 83db以上

10設定: 81db以上

15設定: 72db以上

(上記以外の設定では各設定の間の測定値を設定しています)


SASINEのクラウドデータ例



このデータ例では

夜間0:25分頃に突然検知された場合のデータ例です。
設置場所のデータの時間変化を学習することで、非日常の異常音の検知を行ってアラートを出したりと、様々な活用が想定されます

データ通信

- ・SASINEの標準データ通信機能はLPWAという最新のIoT技術を搭載しています。
- ・ sigfox SIgFoxはSASINEに搭載されているLPWA通信方式です。
- ・SIgFoxの通信コストは携帯電話通信に比較すれば年間コストで1/100程度で利用できます。
- ・データは希望するユーザーの専用サーバーへ送信できます。

SASINEの活用



無人の施設(変電所や中継所など)への侵入者や災害の発生、異常の発生を音の発生をキーワードにモニタリングを可能にします



高価な農作物の夜間盗難や獣害を音で監視します

- ◇ Ai学習で、通常発生しない時間帯に異音を検知した場合にクラウド経由でメール通知が可能です
- ◇ 無人施設や農業現場でモニタリング
- ◇ システム化によって異音検知をトリガーに自動カメラの起動などコスト重視のモニタリングシステムを構築できます。

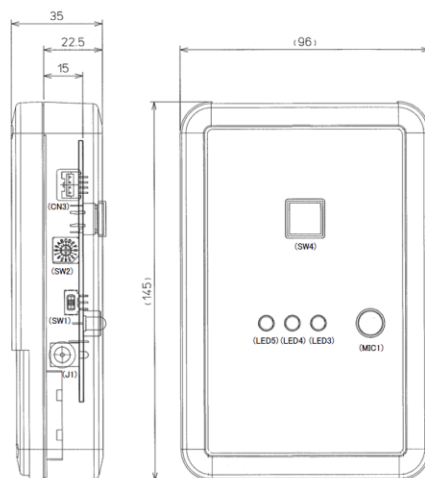
異常音検知を活用する様々なシーンをご検討ください

SASINEの仕様

仕様一覧

項目	仕様内容
電源	ACDCアダプターもしくは電池駆動 (単3電池2本)
動作環境	温度 0~50℃ 湿度 10~90%結露無し
無線	SIgFox 通信エリアについてはご相談ください
オプション	CO2センサー

外観図



お問い合わせ先：株式会社コーデック

〒182-0025 東京都調布市多摩川 1-29-18

☎042-444-8531 office@codec.co.jp